

氏名	越 宗 義三郎
学位の種類	医 学 博 士
学位授与番号	乙 第 1623 号
学位授与の日付	昭和60年12月31日
学位授与の要件	博士の学位論文提出者（学位規則第5条第2項該当）
学位論文題目	ANTEVERSION OF THE FEMORAL NECK IN CONGENITAL DISLOCATION OF THE HIP 先天性股関節脱臼における大腿骨頸部前捻角に関する研究
論文審査委員	教授 寺本 滋 教授 折田薫三 教授 村上宅郎

学位論文内容の要旨

大腿骨頸部減捻骨切り術の股関節形成に対する効果について、97症例107股関節を用いて検討した。4種類の治療法すなわち、Pavlik harness法（Riemen-bügel法）、Frog plaster法（L₁ギブス法）、Colonna手術法そしてDerotation osteotomy法（大腿骨頸部減捻骨切り術）の治療前と治療後約10年での前捻角を計測し比較した。その結果大腿骨頸部減捻骨切り術群の治療前後の減捻率が最も大きかった。しかしながら、股関節形成の一指標となるCE角との相関は認められなかった。

前捻角を手術的に減少させることにより寛骨臼蓋と大腿骨骨頭との適合性が増加し股関節形成も促進されると考えて施行した大腿骨頸部減捻骨切り術の結果は期待に反したものであった。

すなわち、股関節の形成は前捻角の大小にはそれほど影響されないと思われる。

論文審査の結果の要旨

本研究は先天性股関節脱臼の治療に関する臨床的研究であるが、大腿骨頸部減捻骨切り術の股関節形成に対する効果について検討した結果、前捻角および減捻の度合いと治療成績との関連について重要な知見を得たものであって価値ある業績であると認める。

よって、本研究者は医学博士の学位を得る資格があると認める。